



船橋市森林整備養成講座「森林の学校」



森林にある材料を使ったクラフト体験



地域の人々を招いての植樹祭

NPO法人こびすくらぶは、平成17年に設立され、千葉県船橋市の森林  
 実施計画に基づく約100ヘクタールの森林整備に取り組んでいる森林ボ  
 ランティア団体です。

船橋市の森林面積は全体で約480ヘクタール。市全体の5.6%とわ  
 ずかながら、都市化が進む地域において、市民が自然とふれあえる貴重な  
 緑資源です。その約5分の1に当たる面積を荒れた森から豊かな森へと蘇  
 らせることが、同会の活動目標です。

### 船橋市の森林づくりを 市民の手で

こびすくらぶが設立された  
 平成17年、船橋市の森林は厳  
 しい状況にさらされていました。  
 ライフスタイルの変化に  
 ともない所有者による管理が

なされなくなり、相続税を払  
 えないことから手放され、開  
 発のために伐採される森林も  
 多く、都市近郊の貴重な緑が  
 放置され、失われる危機にあ  
 りました。

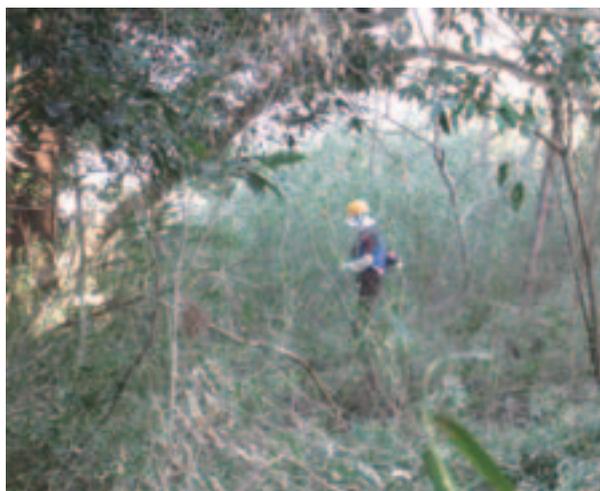
一方、船橋市では、市民を  
 対象とした森林整備養成講座  
 「森林の学校」を毎年実施して  
 おり、この講座の受講生が森  
 林・里山整備を目的とした団  
 体を立ち上げ、地域の森林整  
 備の担い手となる動きが存在  
 しました。このような団体の  
 有志を中心に、NPO法人こ  
 びすくらぶは、一般的な森林  
 ボランティアから一歩進んだ、  
 広域かつ計画的な森林整備の  
 実施を目指して、設立されま  
 した。

### 実施計画により5年で 60ヘクタールを整備

こびすくらぶでは、船橋市  
 の森林所有者46名の森林約



間伐した広葉樹で薪を作り販売



長く放置された森林では、まずササやメダケを伐り払う



間伐した広葉樹をシイタケのホダ木に

100ヘクタールにおいて森林施業計画を策定し、1ヘクタール当たり年間3万円の受託料で森林の整備を行っています。平成17年4月に認定された森林施業計画に基づき、平成22年までの5年間で、約60ヘクタールに対し下刈り、植栽、間伐、枝打ち等の整備を行いました。

このような市民の手による都市部での森林整備の取組が認められ、こびすくらぶは、平成21年度間伐・間伐材利用コンクールで林野庁長官賞を、平成22年度は間伐推進中央協

## 景観・空間づくりと生物多様性の保全

議事会長賞を受賞しました。こびすくらぶの現在の森林整備の課題は、広葉樹林(針広混交林)の育成管理です。都市部である地域の特性から、景観・空間形成と生物多様性の保全を目的とした森林づくりに取り組んでいます。間伐した広葉樹を活用するため、シイタケのホダ木にしたり、薪にして販売もしたりしています。施業区域内には船橋県民の森、船橋市青少年キャンプ

場、教育の森等が含まれ、地域の人々が自然とふれあう場を提供しています。

## 地域で森林への関心を広げるために

こびすくらぶでは、森林整備を行うだけでなく、地域に暮らす人々に少しでも森林に関心を持ってもらうことを願い、地域植樹祭の開催や市民講座への支援を行っています。地域植樹祭は毎年3月頃、竹林を伐り払った場所にコナラやクヌギなど広葉樹の苗木を植えています。小さな子ど

も連れ参加もあり、この子どもたちが成長した頃、植えた苗がどんな姿になっているかが楽しみです。

毎年、船橋市が開催する市民講座では、測量・調査・計画作成などの指導や、こびすくらぶのフィールドを提供してチェーンソーや刈払機による作業体験を行っています。整備だけでなく、森の楽しみを伝えるため、会員の特技を生かしたクラフト体験等も行っています。

## NPO法人 こびすくらぶ

- 会員数 会員46名(平成23年2月現在)
- 森づくり活動フィールド 船橋森林施業計画(平成17年4月認定)による100.21ha
- 活動日 毎週月曜日・木曜日 9:00~15:00
- ホームページ <http://coppice.main.jp/>